

「お客さまのための業務運営に関する基本方針」に対する取組状況の公表について



福邦銀行では、「お客さまのための業務運営に関する基本方針」に則り、地域のお客さまのニーズにお応えする金融商品やサービスの提供に向けた活動に取り組んでおります。今回、2020年3月末現在の取組状況について以下の通り報告いたします。

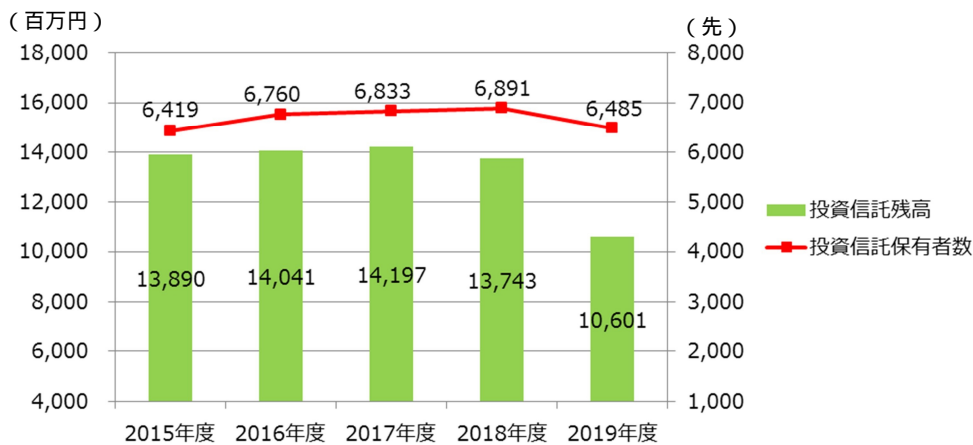
お客さまのためのコンサルティングの実践

お客さまとの対話やいただいたアンケートを通じ、知識、経験、財産の状況、お取引の目的に配慮しニーズに沿った適切なご提案を行います。

ご提案にあたっては、パンフレット、タブレット、各種資料等を活用し、重要な情報の分かりやすい提供に努めてまいります。

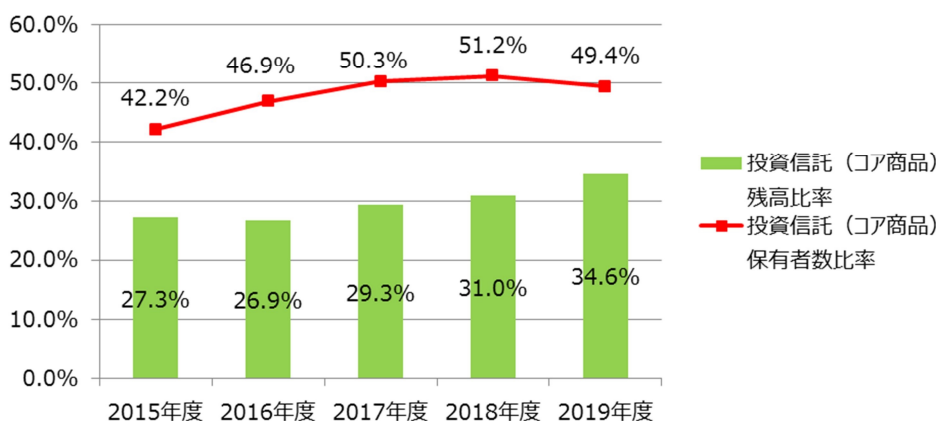
投資信託残高・保有者数

新型コロナウイルスによる市況悪化により投資信託残高は減少いたしました。また、2019年度の株高局面では、利益確定による解約もあり、保有者数も減少に転じております。



投資信託（コア商品）残高比率・保有者数比率

コア商品の特性を活かした、長期的な資産運用をご提案し残高比率は増加いたしました。

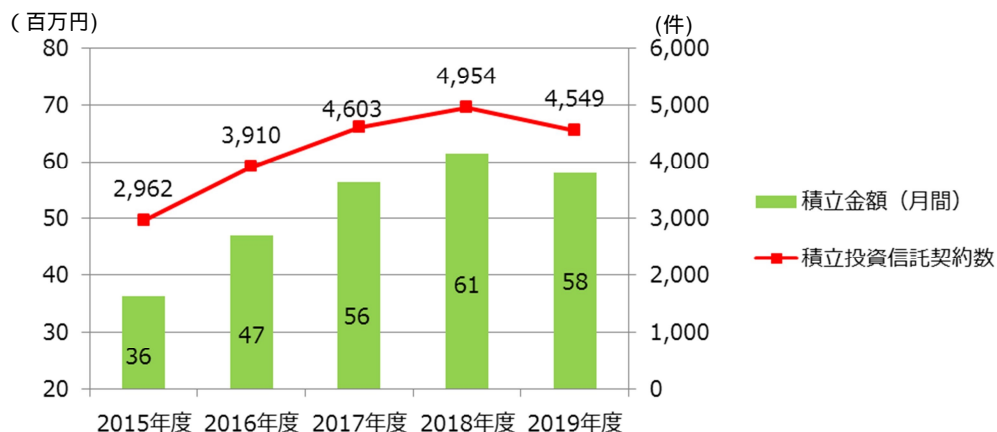


当行では下記をコア商品としております。

- ・福井県応援ファンド
- ・みずほ日本債券アドバンス（豪ドル債券型）
- ・みずほ日本債券アドバンス（豪ドル債券型）年1回決算コース
- ・グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）
- ・グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）
- ・トント・アクション・オープン
- ・米国バランスファンド（毎月決算型）Aコース
- ・米国バランスファンド（毎月決算型）Bコース
- ・たわらノーロード バランス（8資産均等型）

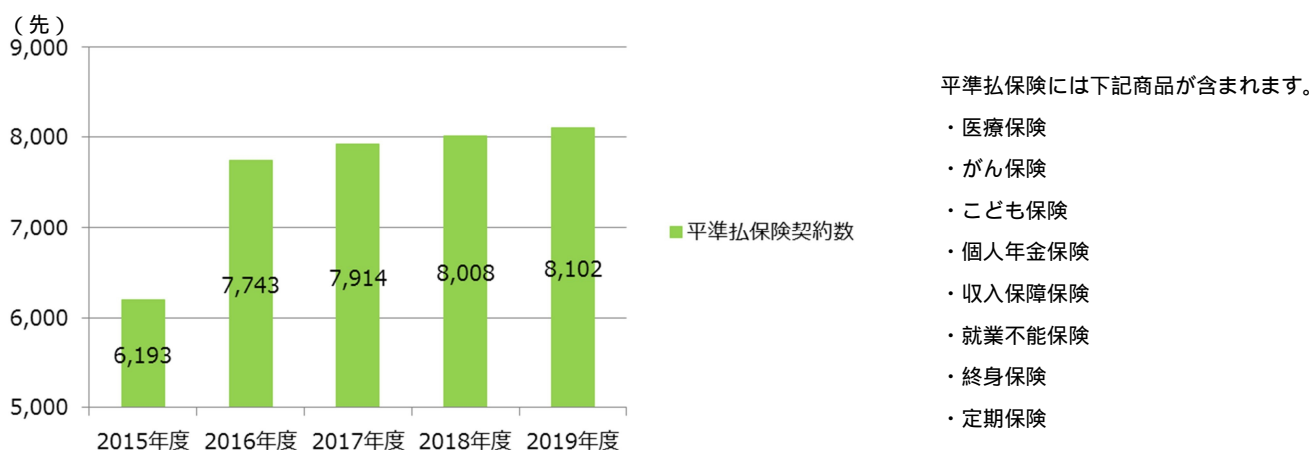
積立投資信託

毎月少額からはじめられ、着実な資産形成に有効となる積立投資信託の積極的なご提案を引続き行ってまいります。



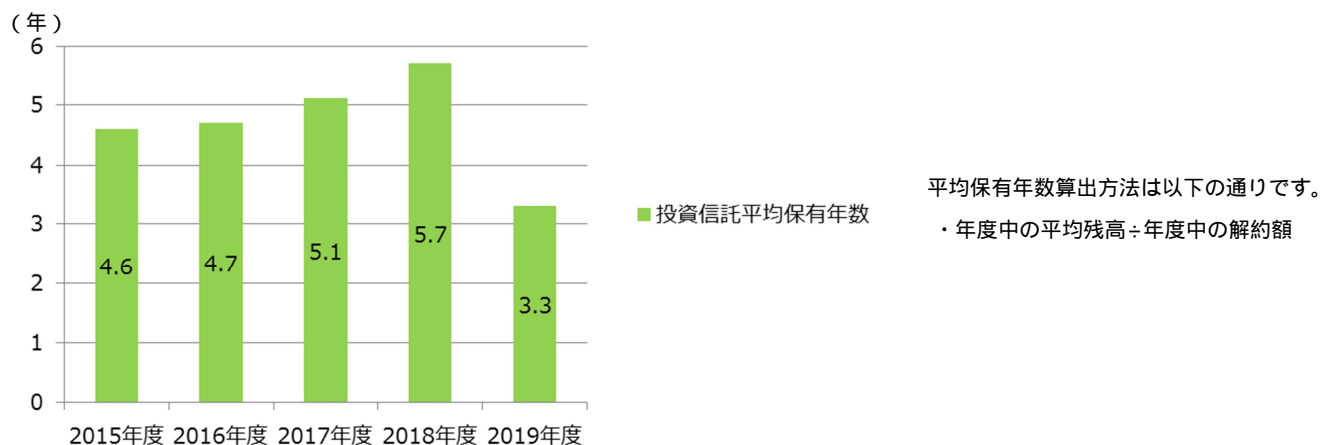
平準払保険

お客さま一人ひとりのライフプランにあわせたご提案により、急な病気や万が一に備える医療保険や、将来のための年金作りが行える個人年金保険などの平準払保険は増加いたしました。



投資信託平均保有年数

2019年度の株高局面では利益確定による解約が増加し、お客さまの投資信託平均保有年数は短期化いたしました。今後もお客さまの投資スタンスにあわせ、資産増加のためのお手伝いをしてまいります。

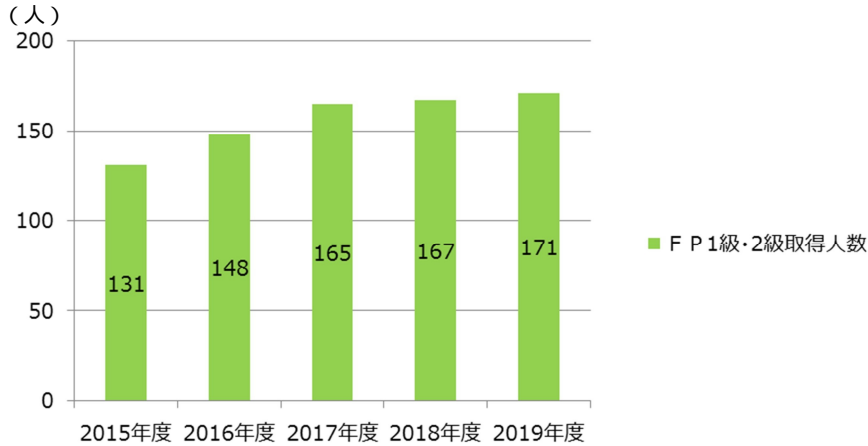


お客さまのための人材育成

お客さまのための業務運営を実現するべく、全役職員が本方針に沿って誠実に行動し、より高いコンサルティング能力の発揮、質の高い金融サービスの提供によりお客さまの利益を損なうことのないよう行内教育、研修の充実に努めてまいります。

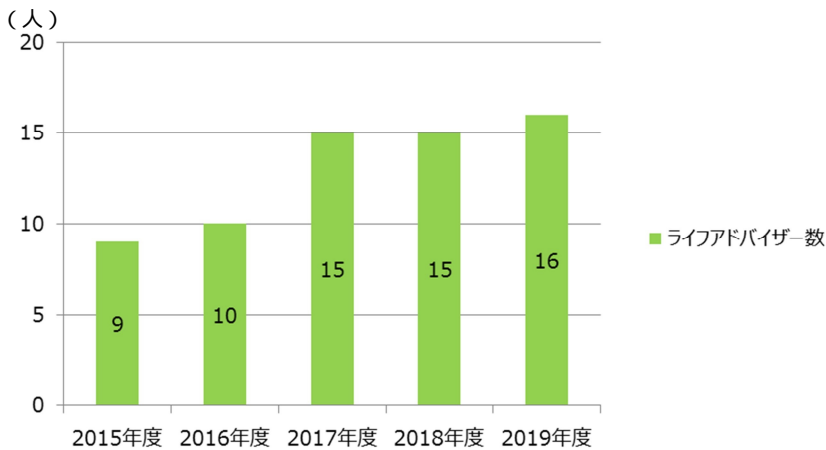
F P 取得人数

金融のプロフェッショナルとなるための人材育成として、自主学習・研修等によりF P 取得者の増加に向け引き続き取り組んでまいります。



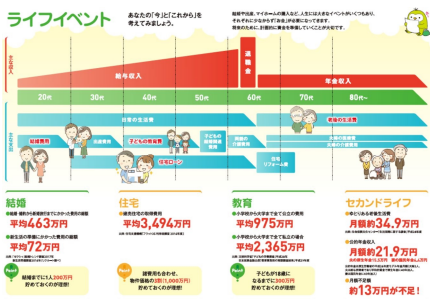
ライフアドバイザー数

より「じっくり相談する体制」に向け、預り資産 および ローンに関する専門的な知識を有する生活支援のコンサルタント、「ライフアドバイザー」を 16 名に増員し配置しております。



以上

(ご参考) 福邦銀行のマネープラン



資産の考え方と資産づくり



福邦銀行では、これからのライフイベントにおいてかかる費用や、その費用を準備するための各種情報、商品についてまとめたマネープラン冊子を作成しております。

よりわかりやすく、お客さまのご意向に沿ったご提案を続けてまいります。

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」の公表について



お客さまのための良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶうえで、比較することのできる統一的な3つの指標「比較可能な共通 KPI」について以下の通り報告いたします。

比較可能な共通 KPI について

運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

投資信託預り資産上位 20 銘柄のコスト・リターン

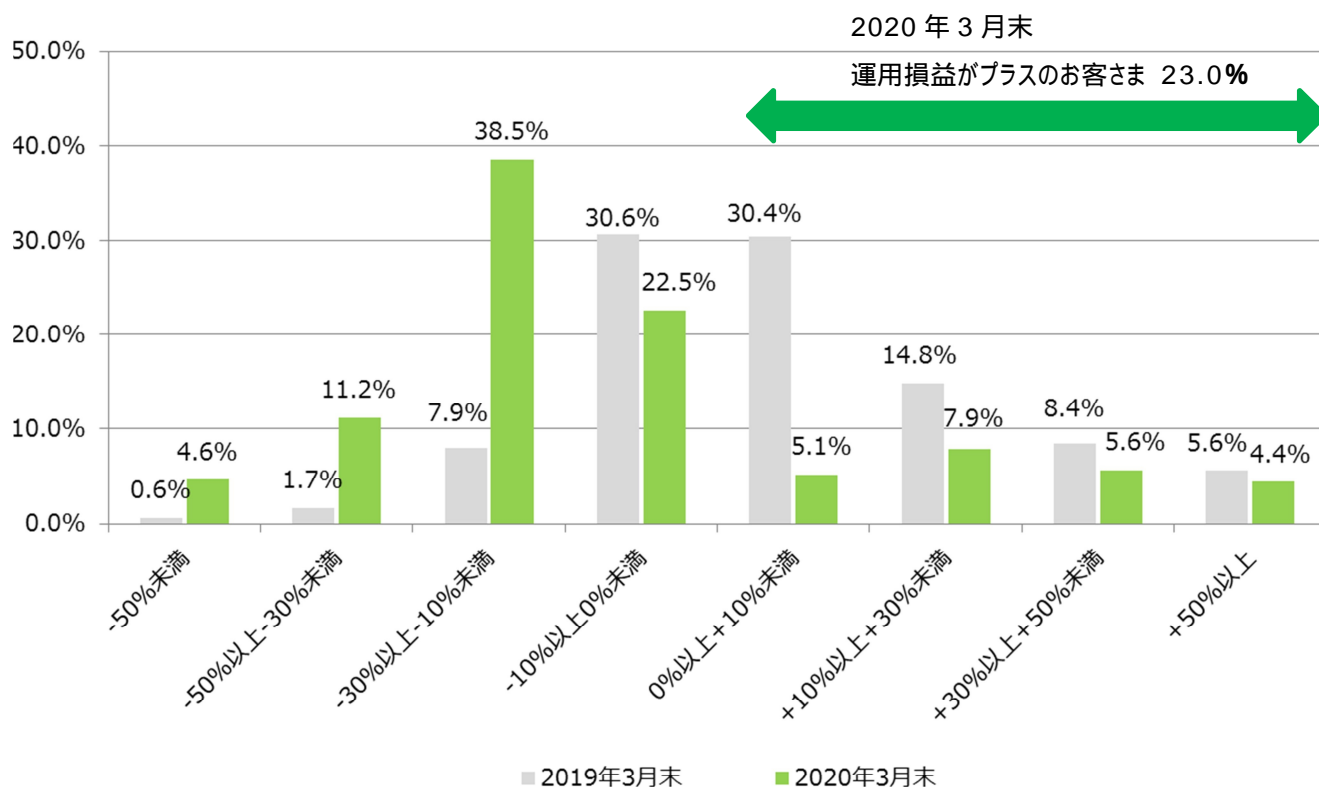
設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

運用損益別顧客比率

新型コロナウイルスによる市況悪化 および 2019年度の株高局面での利益確定の解約により、運用損益率がプラスとなっているお客さまの比率は減少いたしました。

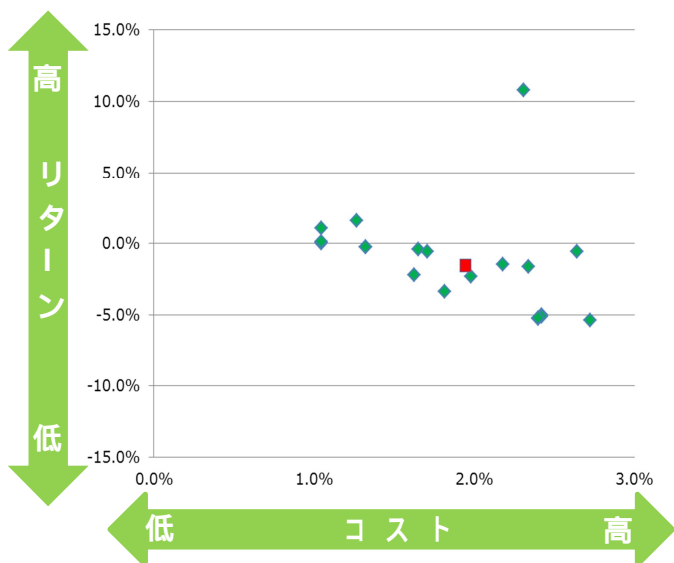


投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

2020 年 3 月末残高上位 20 銘柄の平均コスト 1.9% に対し、平均リターンは-1.5% となりました。

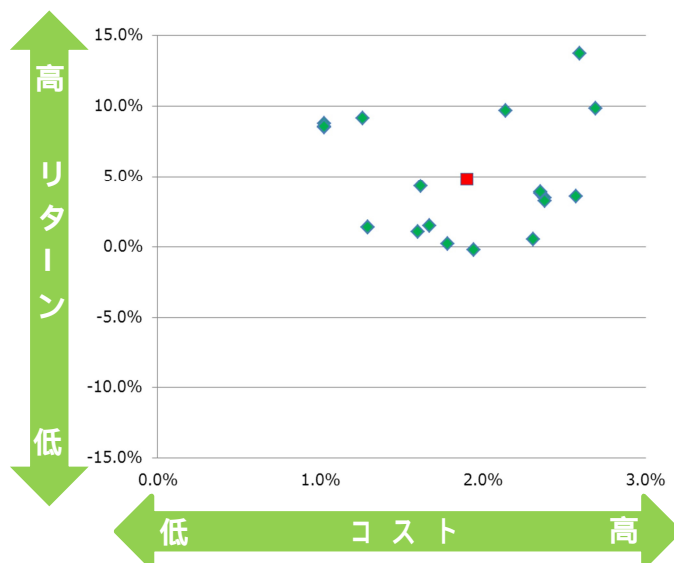
< 2020 年 3 月末 >

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.9%	-1.5%



< 2019 年 3 月末 >

残高加重平均値	コスト	リターン
	1.9%	4.8%



コスト … 販売手数料の 1/5 と信託報酬率の合計値 (年率換算)

リターン…過去 5 年間のトータルリターン (年率換算)

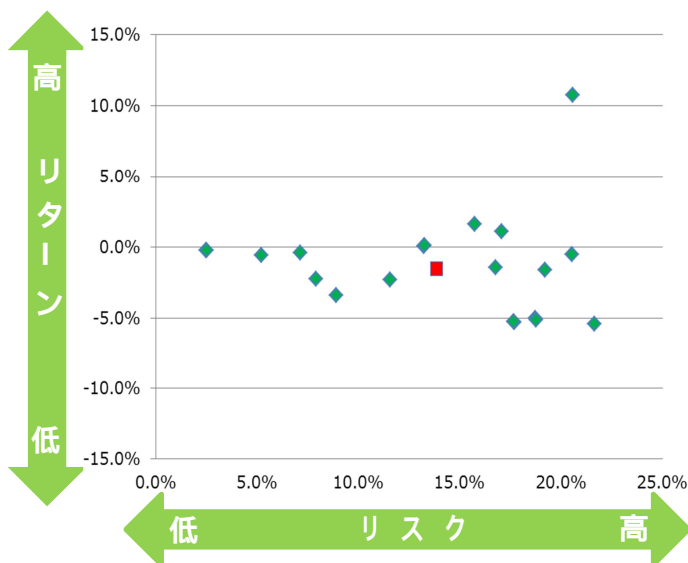
投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

2020 年 3 月末残高上位 20 銘柄の平均リスク 13.9% に対し、平均リターンは-1.5% となりました。

お客様の資産形成をお手伝いしていく取組みとして、優れた商品を取り揃え、ニーズに即した商品提案を行ってまいります。

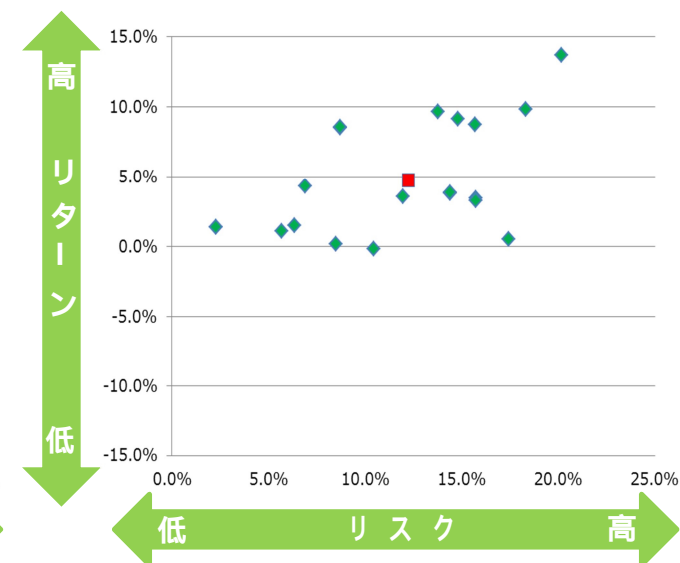
< 2020 年 3 月末 >

残高加重平均値	リスク	リターン
	13.9%	-1.5%



< 2019 年 3 月末 >

残高加重平均値	リスク	リターン
	12.2%	4.8%



リスク … 過去 5 年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)

投資信託預り残高上位 20 銘柄

ファンド名	コスト	リスク	リターン
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.4%	18.7%	-5.0%
福井県応援ファンド	1.7%	7.1%	-0.4%
ダイワ・グローバルREIT・オープン(毎月分配型)	2.2%	16.8%	-1.4%
新光ブラジル債券ファンド	2.3%	19.2%	-1.6%
グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.7%	5.2%	-0.6%
MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	1.0%	13.2%	0.0%
トレンド・アロケーション・オープン	1.6%	7.9%	-2.2%
新光ピュア・インド株式ファンド	2.7%	21.7%	-5.4%
MHAM 株式インデックスファンド 2 2 5	1.0%	17.1%	1.1%
チャイナ・ロード	2.6%	20.6%	-0.5%
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	1.3%	2.5%	-0.2%
MHAM新興成長株オープン	2.3%	20.6%	10.8%
MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.8%	8.9%	-3.4%
ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.4%	17.7%	-5.3%
新興国国債オープン(毎月決算型)	2.0%	11.6%	-2.3%
MHAM J-REITインデックスファンド(年1回決算型)	1.0%	13.3%	0.1%
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)年1回決算コース	1.3%	2.5%	-0.2%
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)	2.4%	18.8%	-5.1%
ワールド・インフラ好配当株式ファンド(成長型)	2.4%	17.7%	-5.2%
MHAM株式オープン	1.3%	15.8%	1.6%

以上